

## Naruto ep2 (Parte1)

1. <sup>まえほんとう</sup>お前<sup>かお</sup>本当に<sup>と</sup>そんな顔で撮<sup>と</sup>るのか？
2. いいからいいから！はい！
3. <sup>こうかい</sup>まったく後悔するなよ。
4. はいチーズ。
5. (シャッター音<sup>おと</sup>)
6. デッヘヘヘ。
7. (猿飛<sup>さるとび</sup>) う～ん。
8. なっかなかいい顔決ま<sup>かお き</sup>なくな<sup>き</sup>ってさ。
9. それ<sup>じかん</sup>んなるまで3時間もか<sup>じかん</sup>かち<sup>じかん</sup>まって。
10. いや～でもさでもさ
11. アートっぽく決<sup>じかん</sup>まった<sup>じかん</sup>ってえかか<sup>じかん</sup>ち<sup>じかん</sup>ょ  
いい<sup>じかん</sup>つ<sup>じかん</sup>つ<sup>じかん</sup>うかアハ...
12. (猿飛<sup>さるとび</sup>) 撮<sup>と</sup>り直<sup>なお</sup>し。そんな～！
13. (猿飛<sup>さるとび</sup>) 撮<sup>と</sup>り直<sup>なお</sup>し。
14. そんなこと言<sup>い</sup>うな<sup>い</sup>ってばよ！
15. ん～。
16. 変化<sup>へんか</sup>！
17. アッハ～ン。
18. 火影様<sup>ほ かげさま</sup>ったら～。
19. う～！
20. うわ～！
21. あ...。
22. あっ。
23. おいろけの術<sup>じゅつ</sup>とは...。

24.	<sup>まった</sup> 全くとんでもない <sup>わざ</sup> 技を <sup>つか</sup> 使いおる。
25.	へへへへ...。
26.	<sup>さるとび</sup> (猿飛)ところでナルト <sup>がくあ</sup> 額当てはどうした？
27.	<sup>せつめいかい</sup> 説明会の日まで <sup>ひ</sup> 着けねえの <sup>つ</sup> 傷つくから。 <sup>きず</sup>
28.	まあそれはともかく
29.	<sup>にんじゃとうろくしょ</sup> この忍者登録書は <sup>さと</sup> 里だけの <sup>おんみつせい</sup> 隠密性の <sup>たか</sup> 高いもので
30.	<sup>まえ</sup> お前に <sup>たいせつ</sup> とっても大切な <sup>しよるい</sup> 書類なんじゃぞ。
31.	<sup>なに</sup> なのに何じゃこの <sup>かお</sup> 顔は。
32.	だって～！
33.	<sup>おれ</sup> 俺 <sup>わ</sup> そういうのよく分かんねえんだもん。
34.	<sup>さるとび</sup> (猿飛)ん？
35.	<sup>このはまる</sup> (木ノ葉丸)じじい！ <sup>しょうぶ</sup> 勝負だコレ！
36.	<sup>このはまる</sup> ん？(木ノ葉丸)五代目 <sup>ごだいめほかげ</sup> 火影は
37.	<sup>このはまるさま</sup> この木ノ葉丸様だ...！
38.	<sup>このはまる</sup> (木ノ葉丸)痛～い！ <sup>いた</sup>
39.	<sup>さるとび</sup> (猿飛)《 <sup>つぎ</sup> 次から <sup>つぎ</sup> 次へと...》
40.	(エビス)あっ！
41.	くそ～！トラップかコレ？
42.	(エビス)え...え...。
43.	<sup>だいじょうぶ</sup> だ...大丈夫で <sup>まごさま</sup> ございますか？お孫様！
44.	ちなみにどこにもトラップはありません！
45.	<sup>なん</sup> 《何だ？こいつってば》

46.	(木ノ葉丸)ん...。
47.	(エビス)《こいつは確 <sup>たし</sup> か...。
48.	フッ <sup>きゅうび</sup> 九尾のガキか。
49.	私 <sup>わたし</sup> の大嫌 <sup>だいきら</sup> いな落 <sup>お</sup> ちこぼれだ》
50.	そうか貴 <sup>き</sup> 様 <sup>さま</sup> が何 <sup>なに</sup> かしたんだな？コレ。
51.	てめえが1人 <sup>にん</sup> でこけただけだろうがこ ら！
52.	こら～！手 <sup>はな</sup> を離 <sup>はな</sup> さないか。
53.	その方 <sup>さん</sup> は三代目火 <sup>さんだいめ</sup> 影 <sup>ほかげ</sup> 様 <sup>さま</sup> のお孫 <sup>まご</sup> さんだぞ！
54.	ん？
55.	(木ノ葉丸)《火 <sup>ほ</sup> 影 <sup>かげ</sup> の孫 <sup>まご</sup> って分 <sup>わ</sup> かったとたん これだもんな。
56.	フッこいつもしよせん
57.	眼 <sup>めがね</sup> 鏡 <sup>きやうし</sup> 教 <sup>お</sup> 師 <sup>な</sup> やみん <sup>き</sup> なと同じに決 <sup>き</sup> まってるん だ》
58.	どうした？コレ <sup>なぐ</sup> 殴 <sup>なぐ</sup> れるもんなら殴 <sup>なぐ</sup> ってみ ろ！
59.	どうせお前 <sup>まえ</sup> も火 <sup>ほ</sup> 影 <sup>かげ</sup> の孫 <sup>まご</sup> が相 <sup>あ</sup> 手 <sup>いて</sup> じゃ...。
60.	んなこと知 <sup>し</sup> るかってばよ！
61.	このボケ！あっ！
62.	(木ノ葉丸)《こ...こいつ...》
63.	な...何～!?
64.	(猿飛)やれやれ...。

65.	いいですか？あなたはこの三代目火影様 <small>さんだいめほかげさま</small> の孫 <small>まご</small> なのです。
66.	いくら殴 <small>なぐ</small> られたからといって
67.	あのような者 <small>もの</small> など絶対 <small>ぜったい</small> に相手 <small>あいて</small> にはしてはいけませんぞ。
68.	あんなのを相手 <small>あいて</small> にしてもろくなことはありません。
69.	このエリート教師 <small>きょうし</small> エビスの言うことに
70.	間違い <small>まちが</small> ありません。
71.	お孫様 <small>まごさま</small> は五代目火影 <small>ごだいめほかげ</small> になりたいのでしょうか？
72.	この私 <small>わたし</small> が忍術 <small>にんじゆつ</small> を教 <small>おし</small> えれば
73.	火影 <small>ほかげ</small> の名 <small>な</small> を名乗 <small>な</small> ることなど簡単 <small>かんたん</small> 。
74.	そう私 <small>わたし</small> に教 <small>おし</small> えを請 <small>こ</small> うことこそが
75.	五代目火影 <small>ごだいめほかげ</small> への一番 <small>いちばん</small> の近道 <small>ちかみち</small> なのです。
76.	わ分かりましたね？お孫様 <small>まごさま</small> 。
77.	ん？
78.	え...っっていねえじゃん！
79.	どうやらナルトの後 <small>あと</small> をつけていきよったようじゃ。
80.	なんとそれは一大事 <small>いちだいじ</small> ！
81.	お孫様 <small>まごさま</small> ！
82.	(猿飛)《ハア...何 <small>なん</small> であんなふう

83.	<sup>そだ</sup> 育ってしもうたんじゃ。
84.	<sup>いま</sup> 今 <sup>ほんじつ</sup> ので本日
85.	ナルトと一緒 <sup>いっしょ</sup> にいるとなるとよけい心配 <sup>しんぱい</sup> じゃな。
86.	あやつにアホなことを
87.	<sup>ふ</sup> 吹き込 <sup>こ</sup> まれなければよいのじゃが》
88.	ん？
89.	ん～。
90.	ん～！
91.	♪～